

第3回（仮称）市民活動推進条例検討会 発表

➤ 鎌倉市の施策における問題点・改良点

●チーム1



【①】

- ・テーマや応募状況について
- ・前向き意欲的にとりくみやすい仕組みといえるでしょうか？慎重すぎないか？トライ&エラーもあってよいのかも
- ・四者会議は確実であるが、破談してしまう例が多すぎる気がする
- ・金額が低い
- ・金額が低く慎重に進めるなら次、評価がよかったらステップUPするとか、育てる企画に
- ・市民活動とのニーズが合っているかどうか疑問
- ・市民グループを育てる意識の欠如が感じられる。
- ・前年を参考に内容テーマ等を考えるべき
- ・協働事業自体の認知度が低い
- ・他の市の条例をまねしないで鎌倉独自のものを作りたい
- ・①相互提案②市民活動センター③補償制度④その他

【②】

- ・専門の方にお話を聞いたがよくわからなかった
- ・お話が、どんどんちがう方向へ行ってしまって困った
- ・それは相談の体をなしていません！
- ・NPOセンターが狭い
- ・昔のまんまの悪い点ありませんか？しっかり洗い出して新しい協働のための刷新を！
- ・NPO登録団体の学習センター利用率高いのでは？
- ・NPOセンター→学習センターで利用
- ・会議室が使えない 子連れではどうしてもムリ！！
- ・コミュニティスペース町内会優先利用
- ・鎌倉、大船NPOセンター 夜間利用 会議室利用率
- ・全利用可能施設を調査して状況の把握から～！ 特定団体の予約押さえなど活発力！

【③】

- ・知られていない
- ・子育て懇のように協働でやっている団体でも知らなかった。告知不足をどうするか
- ・きちんとした広報 普及のためのPRなくして意味はない
- ・社協の保険を使っていたが、名簿提出が必要になり、急きょ「市民活動補償制度」をみらい課から教えていただいた。
- ・不特定多数が集まるイベントが多いのに使える保険が少ない
- ・条件、補償内容がハッキリしない

【④】

- ・協働の目標を実質3年で方向転換
- ・基金、補助金リストは公表されているか
- ・3年前は地域の方と子ども目線での話だったのに指定管理にする際は公募して他県からの企業がとった。危機管理も大切だが、これまでの実績は評価しないのはなぜ？
- ・お願いするときだけ説明会。変更する時は説明なし。
- ・指定管理のあり方、考え方は市民寄りであるべきでは？誰でもできるわけではないし、経験や実績は見てる？育てる気はない？
- ・手続きはきちんとしているけれど市民や利用者にはなにもない。議会や委員会でも大量の資料にまぎれて気づかない。
- ・評価基準が違う？「対象」をはきちがえないでほしい
- ・市民を育てる条例に…
- ・「かまくら」市民協働とは行政事務最優先の条例や施策にならないように…



【情報発信】

- ・補助金など周知の不足
- ・情報が届かない（分からない）
- ・見やすい一覧など
- ・相互提案事業もHPには記載あるが、そこに興味をもてていなければわからない。
- ・自治会、地区社協の地縁の人との関係は？

★

- ・提案制度の申込数が少ない
- ・NPOが育つ NPOを育てる視点、スタンス
- ・指定管理業者の選定基準として、地域性の重視してる？
- ・指定管理者制度の問題点
- ・特定管理者の審査員にNPO、市民活動及びNPO法人会計基準に精通する専門家を入れてる？
- ・民間業者ではなくNPOを育てる方向で進めてほしい
- ・公募の場合 審査員の選び方に不信感がある
- ・協働で始まった事業が一に移行するが場合、公募の必要はないと思う

- ・指定管理業者の審査員に必ず、NPO、NPO法人会計基準に精通する専門家、当事者、メンバーを入れる。
- ・体育館のつかいづらさ
- ・タテワリ
- ・指定管理制度の弊害？→おそらく使用フォーマットにこちらのようなかかわり方なく使いづらく
- ・例：子ども会館－青少年課、放課後子ども教室－教育委員会、学校－連携の在り方とは？

★

- ・市町村の財政圧迫という話もある
- ・ケガと弁当は自分持ち
- ・本当に補償されるのか？

★

- ・関係者が評価できるようにするのは？
- ・NPOではできないの？ 問題あり
- ・提案を妨げる「壁」があるのか？
- ・面倒だから
- ・公益性のあるイベント等への協力体制
- ・防災無線の使用等

【ソフト面】

- ・＜相互提案＞ 随時提案にしたら。 評価者の見直しはどう？
- ・スケジュールに絞られないゆっくり考えられるように。
市民に投票してもらったら、関心をもたれるのかと
- ・コーディネート機能をもつ人の不在？
- ・市民活動センターのソフト面が機能していない
- ・ソフト的に対応できるスキル、ノウハウをもった人材がいるのか？
- ・やる気のある市民が関わりたくなるような運営が行われているの？
- ・市民活動に対する「思い」をもった人材がいるのか？
- ・NPOセンター相談業務体制
- ・どのように行政とつながればよいか。普通に活動しているとわからない。だれがどこでどんなコトをしているかわからない。
- ・協働のあり方をどのように相談するのか
- ・自由に相談できる
- ・中間支援機関のコーディネート力UP（民だけど、官、企のこともよくわかっている人材）
- ・中間支援組織の信用保証。 NPOセンター

【ハード】

- ・市民活動センターがせまい
- ・きらら空間利用
- ・他市には広いスペースが用意されている所あり、センターと団体のみならず利用者同士のコミュニケーションも生まれる。

- ・場の提供 車イス、ベビーカーのユーザーには不便
- ・場所 300 平米ほどあるとイイ！！ エレベータなどバリアフリー
- ・出会い自由にできるように
- ・団体の相談先が他市へ流れていっている。
- ・当事者市民が評価する手段もあり

➤ 他市の施策で鎌倉市でも取り入れるべき施策

●チーム 1



【①】

- ・鯖江市民主役条例 ネーミングが良い 鎌倉市らしいネーミング
- ・比較表下段 ※1 鯖江市の部会名がユニーク
- ・なぜ鎌倉は条例制定が遅れているのか
- ・(特非) 市民活動運営会議がNPO支援しているがその内容は。

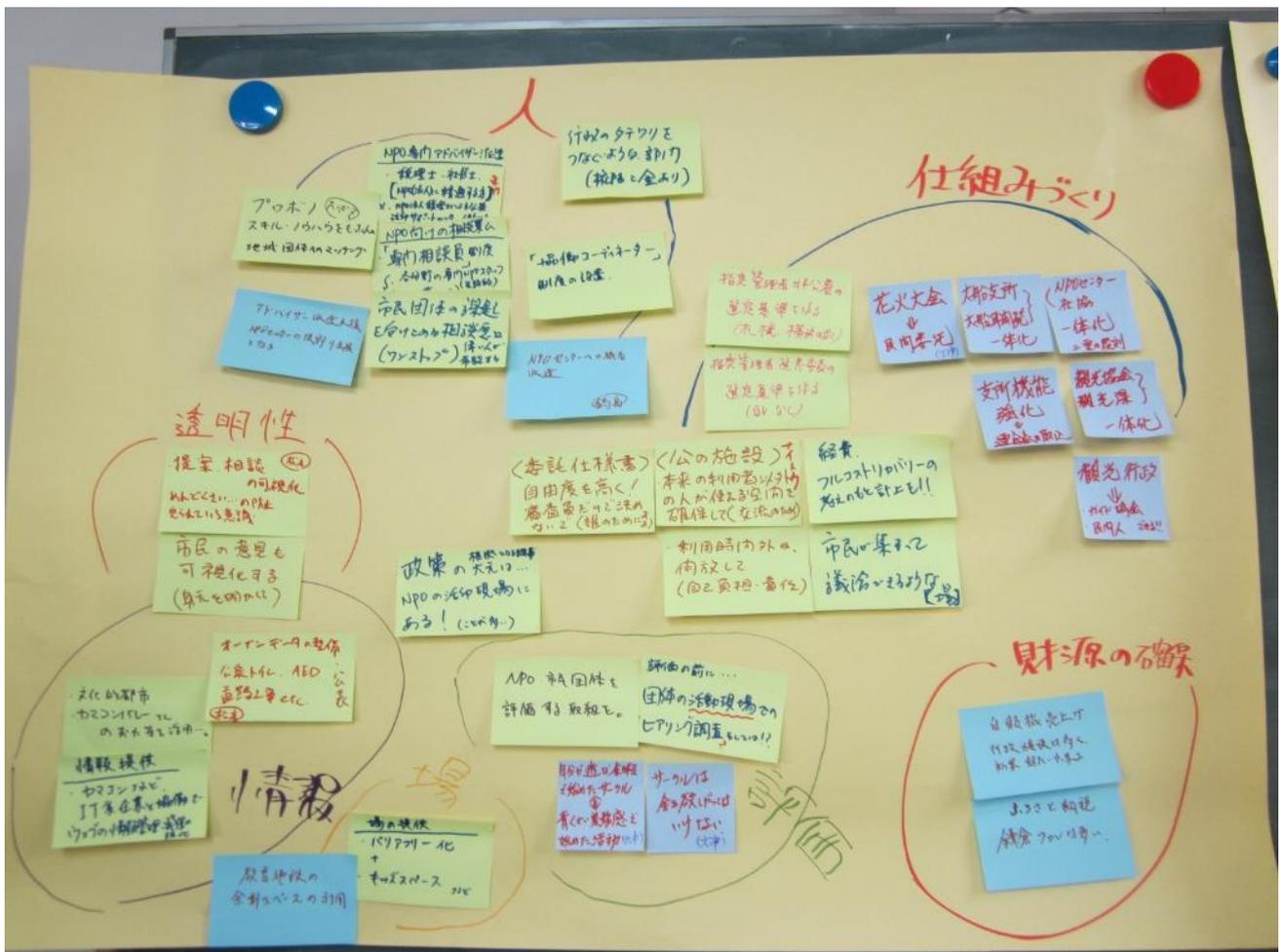
【②】

- ・プロボノ制度の強化
- ・プロの方がボランティア団体に協力、技術を指導する→ことをコーディネートする
- ・「川崎ゆめパーク」冒険遊び場 不登校の子どもの居場所、乳幼児親子の居場所

- ・冒険遊び場…かまくらで15年もずっと市との協働でやってる。そろそろ常設に！
不登校の子ども…クラスにひとりはある。大問題！家族は本当につらい。
乳幼児親子…少子化対策は仲間づくりがカギ！
- ・税金だけがお金じゃない。信託とか、もっともっと有意義な活用を
- ・子どもの問題、居場所は基本無料であるべき＝公設、市民営がイイ！

【③】

- ・役割の交換 高齢者ー若者 時間、体力、知恵、お金
- ・委託した場合の成功例を知りたい→共に失敗のない結果を生みたい
- ・市民活動実績データベース どんな人がどんな公益的活動をしてきたかのデータ。メンバー拡大、実績評価、委託の可能性を見込んで。
- ・どんな人にも活躍のチャンスがあることを保証する。 お年寄りからこどもまで様々な参画メニューを用意して前向きに進めたい。
- ・行政側の受け入れの必須化！（全てとはいませんが…） 市民力を導入できる理由を求めるのではなく、導入できない理由を説明してもらおう。
- ・技術、情報 有償？無償？ ハイレベルなものを求める？
- ・担当課としても行政各課が受け入れやすく、プラスになる見せ方、準備、施策を用意できるとよい。
- ・若者グループを先輩市民グループ or 専門家が評価し押し上げてあげる施策。育てる。
- ・行政事業参入トレーニング講座をNPOセンターで開講。これであなたも立派に市の仕事が手伝える！！ノウハウを学びグループを強化するレクチャーやW. Sあるといいね



【人】

- ・プロボノ スキル、ノウハウをもった人の地域・団体へのマッチング
- ・NPO専門アドバイザー派遣 税理士、社労士、(NPO (法人) に精通する方、専門家)
Ex: NPO法人税理士による公益活動サポートセンター (東京地方税理士会)
- ・NPO向けの相談業務 「専門相談員」制度。 各分野の専門NPOスタッフ (先駆的)。(士業など)
- ・市民団体の課題を受けとめる相談窓口偉い人が常駐する。(ワンストップ)
- ・行政のタテワリをつなぐような部門 (権限と金あり)
- ・「協働コーディネータ」制度の設置
- ・NPOセンターへの職員派遣
- ・<委託仕様書>自由度を高く！審査員だけで決めないで (誰のためにある)
- ・政策の根拠となる出来事の大元は…。NPOの活動現場にある！ (ことが多い…)

【仕組みづくり】

- ・指定管理者非公募の選定基準を作る (札幌、横浜の例)
- ・指定管理者選考委員会の選定基準を作る (例なし)
- ・花火大会→民間委託
- ・大船支所、大船再開発、一体化。

- ・NPOセンター、社協、一体化。二重の役割
- ・支所機能強化→連合会を取込
- ・観光協会、観光課、一体化。
- ・観光行政→ガイド協会、民間人 できる！！
- ・＜公の施設＞ 本来の利用者以外の人が使え空間を確保して（交流のため）
- ・利用時間外は開放して（自己負担・責任）
- ・経費。フルコストリカバリーの考えのもと計上を！！
- ・市民が集まって会議できるような「場」

【透明性】

- ・提案、相談の可視化。めんどうくさい…の防止。見られている意識。
- ・市民の意見も可視化する（身元を明かして）

【情報】

- ・オープンデータの整備、公表。 公衆トイレ、AED、道路工事 etc
- ・文化的都市。カマコンバレーさんのお力等を活用…。
- ・情報提供。カマコンなどIT系企業と協働でウェブの情報管理発信の強化

【場】

- ・場の提供 バリアフリー化+キッズスペースなど
- ・教育施設の余剰スペースの利用

【評価】

- ・NPO、市民団体を評価する取り組みを。
- ・評価の前に…団体の活動現場での「ヒアリング調査」をしては！？
- ・自分が遊び余暇で始めたサークル⇔青くさい義務感で始めた活動
- ・サークルは金を欲しがってはいけない

【財源の確保】

- ・自販機売上げ、行政施設は多く、効果的